

課題のまとめ

市民アンケート調査から見えた課題（事務局案）

○地域との関わりや交流

当初のアンケートと比べても要介護・要支援高齢者と回答された方が多かったです。高齢者も活動に参加しやすいよう交通の便を意識してほしい。という意見もありました。

高齢化社会において、地域における「近所付き合い」や「地域のつながり」を保てるよう自治会・町内会などを利用した事業への展開も検討していく必要がある

○自然や環境を守る、住みやすいまち

交野市はもともと田畑も多いし、緑も多いのでそれらも守ってほしい、緑豊かな交野を望むなどの意見もあり、住みやすい環境づくりや里山保全などの取り組みを継続していくことも課題だと考えられます

○情報発信

インターネットにつながっている環境が増え、好きな時に情報をアクセスできる時代となっているので、動画配信や市民にもっとわかりやすいイベント情報を提供できる仕組みを検討する必要がある

委員の意見

情報発信についての意見

・PC、スマホ使える方も多いが、使えない高齢者も多数いる。この問題（方法）をどうしていくか考える必要がある。紙媒体や放送なども考えるべき

↓

PCやスマホが使えなくても近隣との付き合いがあれば情報として入ってくる。また、共働きが増えている中で情報が入手しにくくなっている

↓

地域のつながりにもつながる

- ・感心をもってくれるような情報発信が必要 → 「きっかけ」となる声掛けが必要
- ・リアルタイムの発信（インスタなど）
- ・SNSの活用 → 回数を繰り返すことで「やりたい」と思えるようになる
- ・外国人にどう発信するのか？

↓

交野市のホームページにも韓国語・英語など外国人向けに対応してもらえたら

団体アンケート調査から見えた課題（事務局案）

アンケート結果を見ると60%以上の団体が「中心となる後継者不足」、「参加者・協力者が不足」と回答しており、担い手や新たな会員が増えないと課題がわかります。

また、今回のアンケートに限らず前回のアンケート調査でも（合算で）70%以上の団体が「中心となる後継者不足」、「参加者・協力者が不足」と回答しています

【新たな項目】

活動を将来へ継続するために必要なものは、「地域の人との交流や世代間との交流」が活発になる仕組みや取り組みだと考えられます

自由記述には、「すでに出来上がっているグループへ入っていくのはハードルが高く、なかなか参加できない」や「どういった団体活動があるのか情報が分かりづらい」などの声もあります

現在、社会教育課では総合型地域スポーツクラブについての検討を行っています
引き続き、総合型が目指す、誰でも気軽に参加できる「きっかけづくり」や「つながりづくり」の場が提供できるように進めてまいります

委員の意見

担い手不足の意見

- ・ホームページを見て参加したい

↓

初心者も随時参加可としていたが、教えるのに手間がかかるため初心者のみ集めて教室を開催。教室が開催されないと初心者の方は参加したくても参加できない。その為、期間が空くとやりたい気持ちが薄れいくのではないか？と思う

若い年層は覚えも早いですが、高齢の方は遅く「教室運営」のやり方に悩む

- ・学習者が何を求めているのか
- ・興味をもって参加 →地域とのつながりが必要
- ・仕切りが高い
- ・どんな人がやっている、何をしているのかわからない →中身を出すことも大事
- ・PRだけでは人は来ない →友達を誘うが一番
- ・団体への紹介の窓口は活用されているのか？
- ・掲示板の使い方をもっと分かりやすく

どんな団体がどんな活動しているのか掲示板を活用する考えも必要がある

まとめ

市民アンケート、団体アンケートからも「地域とのつながり」がキーワードとなっていることが伺える。また、新たな会員を増やすには誰もが参加できる「きっかけづくり」や「つながりづくり」が担い手不足にも繋がっていく。

総合型地域スポーツクラブが目指す、「地域とのつながり」や「誰もが参加しやすい環境」の場を提供ができると考えます。